

風を感じて No. 311

R2.5月

風薫るさわやかな季節が巡ってきました
皆様いかがお過ごしでしょうか。



編集原誠一、文代

5/1 TEL FAX
0968-26-4339

(麦) 暖冬の影響で、穂が出てくるのが早かつてしまい、(心配して) いよいよ霜の被害が一部の麦に出てしまいました。霜にやられた部分には、実が入っていないせいで、収穫量に影響してくると思われます。仕方のないことですので、本当に残念です。

← 穂が出てすぐのころは、実がやわらかいので、それを狙ってズメが食べに来ます。穂に、とまって食べるのですが、茎もまだやわらかいで、ボキボキと折れてしまします。

裸麦は、日に日に色づいており、5月中旬には刈り取りが始まりそうです。田植えも何ヶ月の苗作りも始まりますので、数日かけてもみ穂を播き、それを床に掻きつける作業も待っています。その後、小麦の刈り取りも始まります。あれもしながら、これもしながら…と、大変忙しい時期へと移っています。

3月中旬ごろからツバメがやってくるようになり、母屋の裏や納屋のあちらこちらに巣を作っています。土を運んできても大きさはポケットのような巣を、数日で作りあげていく様は、実に見事です。

“ツバメが低く飛ぶ”と雨になる、と聞かれたことはありますか？ 雨が降る前は、大気中に水蒸気が増えるため、ヒナたちの餌となる小さな虫たちは、羽が湿って重くなり、高く飛べなくなってしまいます。すると、その虫をつかまえるために、ツバメも低く飛ぶ、という訳です。

ちなみにツバメの親鳥は、一日に300匹以上の虫をヒナへ運ぶそうです。すごいですねー。

今年もホタルの季節がやってきました。毎年連休ごろに乳戸が見られます。あの幻想的な淡い光に、い癒されます。そして、家の裏の水路で見られるというのは、とても幸せなことです。感謝！

花の香り) 春先から次々といろんな花が咲き、良い香りを漂わせています。花はどうして良い香りがするのでしょうか…？

多くの花は、ハチ、ショウジョウなどに花粉を運んでもらって、受粉することで種をつくります。ですから昆虫が好む香りを出して、昆虫を誘っているのです。ミツバチなどには、甘い蜜で誘っています。花は、受粉するため香りを出し、昆虫は蜜や花粉を集めるために、花にやってくる…持ちつ、持られつの関係なんですね。時間によって香りの強さを変える花もあります。ハチやショウジョウは、昼間に活動する昆虫を誘う花は、昼間に強い香りを出し、夜活動するガを誘う花は、夜に強い香りを出しています。

又、夜に強い香りを出す花は、白っぽい色が多いそうです。花びらが、月明かりに照らされた時、昆虫に花の在りかを知らせるのに適しているから、です。

香りを出す場所は、花の種類によって違いますか？ 花びらや雄しべ、雌しべの根元から出しています。昆虫を根元まで呼び寄せて、しっかりと受粉作業をしてもらつためです。

受粉を目的に良い香りを出す花。受粉を助け、甘い蜜をもらう昆虫。…自然の豊みには、改めて感じてしまいましょう。



学校が休校となつている孫たちと、家の近くを散歩していく時に、四つ葉のクローバーをたくさん見つけました。写真の中の、茎が一番長いクローバーは、四つ葉ではなく、なんと七つ葉です。見つける時は無じになります。見つけた時は幸せな気分になります。いい時間を過ごすことができました。

コロナウイルスによって世界が一変してしまい、毎日不安な情報ばかりで気が滅入りそうになりますが、自然に囲まれ、いつも変わらず生活することができます。これが本当にありがたいことだと改めて感じています。

体だけではなく、心の健康にも気を配りながら、元気に乗り越えていかないと感じます。お米の乾燥具合の違いで、炊飯時の水の量が若干、変わってきたのです。炊いた時に、少し固いかな、と感じられた時は少し水を足して炊かれて下さい。